

『日々是好日』

会長指針:「日日是好日」

この言葉は禅語のひとつであり、もともとは唐末の禅僧雲門文偃(うんもんぶんえん)の言葉とされています。

日本語の禅語としては「にちにちこれこうにち」と読むのが正しいとされていますが「にちにちこれこうじつ」とする例もあるようです。

日常的な表現としては「ひびこれこうじつ」とも読む作品をご存じの方もおられると思います。

「日日是好日」の解釈としては、文字通りには「毎日毎日が素晴らしい」という意味ですが、「毎日が良い日となるよう努めるべきだ」という解釈や、「そもそも日々について良し悪しを考え一喜一憂することが誤りであり、常に今この時が大切なのだ」、あるいは「あるがままを良しとして受け入れるのだ」

とする解釈がなされているそうです。

いまだに続くコロナ禍。会員の皆様にとって厳しい状況が続いていることと思います。先程述べたようにこの言葉の解釈には諸説あるようですが、「毎日が良い日となるよう努めるべきであり、常に今この時が大切なのだ」と理解して、コロナ収束に向けての思いを込めての指針とさせていただきます。

ワクチン接種が本格化し、甲子園 RC のメンバーも半数以上が少なくとも 1 回目の接種を受けていると聞いています。

現状においてコロナに対しての最強の武器であると考えられるワクチン接種によって今後の見通しが明るくなりつつあります。

「日日是好日」をモットーに前向きに 1 年間勤めていければと考えております。

どうぞご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。

